

第5回京都府がん医療戦略推進会議の開催概要

1 日時

平成27年8月28日（金曜）午後3時から午後5時まで

2 場所

京都市上京区烏丸通上長者町上る龍前町 京都平安ホテル 1階 平安の間

3 出席団体

<がん診療連携拠点病院>

京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院

京都第二赤十字病院

京都市立病院

京都第一赤十字病院

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

市立福知山市民病院

独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター

<地域がん診療病院>

社会医療法人岡本病院（財団） 第二岡本総合病院

京都山城総合医療センター

公立南丹病院

京都府立医科大学附属北部医療センター

<京都府がん診療連携病院>

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

<関係団体>

一般社団法人 京都府医師会

一般社団法人 京都府病院協会

一般社団法人 京都私立病院協会

<京都府>

4 議題

1 報告

- (1) 京都府がん対策推進計画の進捗状況、平成 27 年度予算について
- (2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の開催結果について

2 協議事項

各部会の活動報告について

5 議事概要・主な意見

1－（１）京都府がん対策推進計画の進捗状況、平成 27 年度予算について

平成 25 年度からの 5 か年計画である「京都府がん対策推進計画」の取組状況（2014 年度末時点）について、報告。

また、計画を推進するために計上された、京都府の平成 27 年度がん対策関連予算について説明。

<主な意見>

特になし

1－（２）都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の開催結果について

平成 27 年 7 月 3 日に開催された上記会議の概要として、厚生労働省からの伝達事項に絞り、ポイントについて報告。

- がん対策推進基本計画中間評価
- がん対策加速化プラン
- がん診療連携拠点病院等の整備
- 緩和ケアに関する連絡事項
- がん教育

<質疑>

特になし

2 各部会の活動について

(ア) 各部会からの活動報告

○院内がん登録部会

・主な活動内容は、

- 1 部会活動
- 2 登録実務者の WG
- 3 5 大がんの研修会

・課題として、現在は研修をボランティアで実施しているが、法制化により、初心者の申込みが増えており、パンクしそうな状況である。何らかの予算措置を検討してほしい。

○相談支援部会

- ・26年度は相談員のための相談支援マニュアルを作成。作成ワーキンググループを作り、分担して資料を作成。
- ・京都大学大学院医学研究科の田村教授を講師に招き、「緩和ケアにおける意思決定支援」をテーマに研修会を開催。
- ・今後としては、近畿ブロックでの地域相談支援支援フォーラムが開催される予定で府県を超えた連携ネットワーク構築を図る。

○研修部会

- ・今年度、部会長が小西教授から戸井教授に変更となった。
- ・活動状況は、各病院の研修状況を取りまとめ、その情報を京都府HPで掲載することとしている。

○緩和ケア部会

- ・すべてのメディカルスタッフに対して緩和ケア研修会を実施している。
- ・PEACEの開催指針が開催されたため、新指針に対応するプログラムを検討して、平成27年度から新指針ですべて対応するという事になった。
- ・ELNEC-Jについては申込者が非常に多いということで、今年より年間2回開催することとした。
- ・フォローアップ研修を京都医療センターで実施、盛況に終えることが出来た。
- ・PEACEについては、厚生労働省の事務連絡があったように、がん医療に携わる医師の9割が受講、病院長が受講などの計画が求められており、今後受講者が多くなるため、これらに対応出来るような研修体制の構築を検討する必要がある。

○外来化学療法部会

- ・千葉教授から武藤教授に部会長が変更された。
- ・活動内容
 - 1) がん患者指導管理料について
各施設が算定率を上げていくことができるよう、情報共有等を行った。
 - 2) 就労者の外来化学療法について
各拠点病院等のがん相談支援センターの相談内容から、就労に関するものを抽出してもらい、患者ニーズを調査して対象の検討を行う。
 - 3) 高齢者の外来化学療法について
国立がん研究センターやJCOGの情報等を部会で共有していく。

○地域連携部会

- ・5大がん及び前立腺がん連携手帳の普及・見直しを必要に応じ、検討。
- ・がんに係る地域連携手帳の運用状況アンケートを実施中
- ・今後は、パスの運用上のメリット・デメリットについて、振り返りの機会を持つようにする。

(イ) 主な意見

○全体を通しての意見

- ・ピロリ菌事業について、福知山市ではABC検査を実施しているが成果が出るのに時間がかかるので、長い目で実施していく必要がある。今後の精度管理が重要である。フォローアップする消化器内科医の不足が顕著になってきているので、考慮が必要。

○院内がん登録部会関連

- ・来年の1月に施行される全国がん登録の開始の影響で、院内がん登録の初級者研修に参加される病院

職員が多いが、初級者研修自体の定員が限られているという課題と、院内がん登録で求められているレベルを担保した全国がん登録をやっていこうとする場合は、研修体制が整っていないという課題がある。

- ・導入されるマイナンバー制度とがん登録との連携について、マイナンバーと医療 ID を発番する予定としている。この 10 月にマイナンバーを配布した後に 2 年間の間に法制上、施行する予定である。
- ・地域がん登録と院内がん登録の実務で重複することがあるので、うまく連携して、全国がん登録を実施されたい。

○相談支援部会関連

- ・相談支援マニュアル配布状況について、部会長より、昨年度中に 21 拠点病院の相談員等に配布されており、次回の相談支援部会において、相談員さんに活動状況を照会し、見直しを検討する予定である。

○研修部会関連

- ・特になし

○緩和ケア部会関連

- ・京都府のどこかの機関で、緩和ケアの空き病床の状況や受入待ち期間等を含めた状況把握ができるようになることが望ましい。
- ・各拠点病院等のがん相談支援センターに相談してもらえれば、緩和ケアでよく相談される情報などを把握しているので、活用頂きたい。

○外来化学療法部会関連

- ・高齢者に対する化学療法の基準は日本全体の動きを見ながら、高齢者の評価をするということを情報共有して、京都府に還元していきたい。

○その他

- ・2008年から一部地域でポケットカルテを運用している。電子手帳であるため、クラウドで情報が集められるということであり、また共通した情報については、共有することが可能。是非ともポケットカルテを地域連携パスの電子化に活用頂きたい。